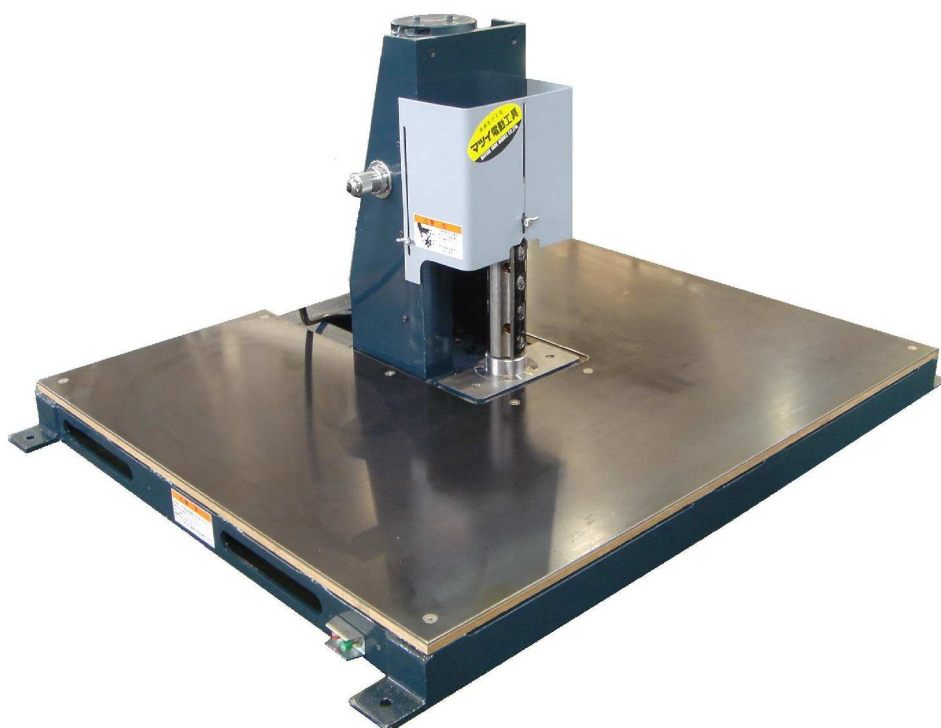


# 倣い面取盤

TK-150

## 取扱説明書



このたびは松井電動工具シリーズ“倣い面取盤”をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
ございます。

- ・ この取扱説明書は機械の使い方だけでなく安全上、重要な事柄が書かれています。機械を使用されます前に必ずこの取扱説明書をお読み頂き、書かれていることを完全にご理解されるまでは絶対に機械を作動させないで下さい。
- ・ この取扱説明書は、本機を使用される方がいつでもご覧になれる所に保管して下さい



株式会社 松井鉄工所

## 主な仕様

型 式	TK - 150
電 動 機	直流整流子電動機
電 圧	単相100V
周 波 数	50 / 60 Hz
消 費 電 力	1,460W
回 転 数	14,000 min <sup>-1</sup>
刃 物 幅	155mm
最 大 切 削 深 さ	2mm (全面切削時)
定 盤 寸 法	L×W 750×900mm
外 形 寸 法	H500、L750、W900 (mm)
重 量	75kg

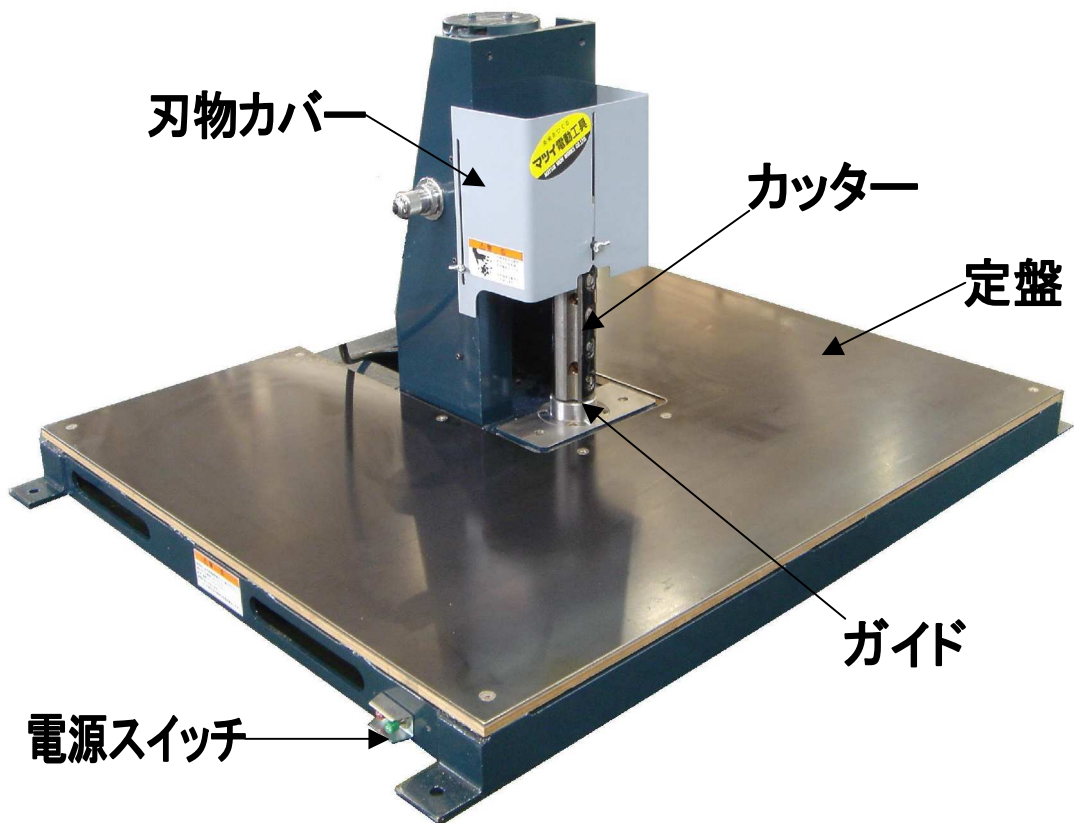
## 標準付属品

- ・ ボックスレンチ (9mm)
- ・ 刃出し定規
- ・ クランプ

## オプション

- ・ アクリル刃物カバー

## 各部の名称



## 安全上のご注意

- ・ ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、完全にご理解頂くまでは機械を作動させないで下さい。
- ・ この取扱説明書に示した注意事項は『警告』『注意』に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容を記していますので必ずお守り下さい。
- ・ この取扱説明書は機械を使用される方がいつでもご覧になれるところに保管して下さい。
- ・ 本機を絶対に改造しないで下さい。

## 『警告』『注意』の意味について

！ 警告	機械に接触または接近する使用者、第三者などが誤った取り扱いをしたときに死亡または重傷を招く可能性が想定されること。
------	---

！ 注意	機械に接触または接近する使用者、第三者などが誤った取り扱いをしたときに軽傷または中程度の障害を招く可能性または物的損害が想定されること。
------	--

！ 注意：に記載した事項でも状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

## 電動工具使用上のご注意

- ・ 火災・感電・怪我などの事故を未然に防ぐために、一般的な注意事項として次に述べる「電動工具使用上のご注意」をお読みの上、指示にしたがって正しく使用して下さい。

### ！ 警告

1. 作業場は、いつもきれいに保って下さい。
- ・ ちらかった作業台は、事故の原因となります。

## 警告

2. **作業場の状況も考慮して下さい。**
  - ・木工機械は、雨中で使用したり、湿った、または濡れた場所で使用しないで下さい。
  - ・作業場は十分に明るくして下さい。
  - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないで下さい。
3. **感電に注意して下さい。**
  - ・電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにして下さい。
4. **子供を近づけないで下さい。**
  - ・作業員以外、電動工具やコードに触れさせないで下さい。
  - ・作業員以外、作業場へ近づけないで下さい。
5. **使用しない場合は、きちんと保管して下さい。**
  - ・乾燥した場所で、子供の手が届かないよう錠のかかるところに保管してください。
6. **無理して使用しないで下さい。**
  - ・安全に効率よく作業するために、電動工具の能力にあった速さで作業して下さい。
7. **きちんとした服装で作業して下さい。**
  - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないで下さい。
  - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑りどめのついた履物の使用をお勧めします。
  - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆って下さい。
8. **保護めがねを使用して下さい。**
  - ・作業時は、保護めがねを使用して下さい。また、粉じんの多い作業は、防じんマスクを併用して下さい。
9. **無理な姿勢で作業をしないで下さい。**
  - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにして下さい。
10. **加工するものをしっかり固定して下さい。**
  - ・加工する物を固定するために、バイスできちんと締めて下さい。
11. **コードを乱暴に扱わないで下さい。**
  - ・コードを持って木工機械を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないで下さい。
  - ・コードを熱、油、角が鋭角になった所に近づけないで下さい。
12. **電動工具は、注意深く手入れをして下さい。**
  - ・安全に効率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保って下さい。
  - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従って下さい。
  - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。

## 警告

13. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグから電源を抜いて下さい。
  - ・ 使用しない、または、修理する場合。
  - ・ 刃物等、付属品を交換・調整する場合。
  - ・ その他危険が予想される場合。
14. 調整キーやレンチ等は、必ず取り外して下さい。
  - ・ 電源を入れる前に、調整に用いたレンチ等の工具類が取り外してあることを確認して下さい。
15. 油断しないで十分注意して作業を行って下さい。
  - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業して下さい。
  - ・ 常識を働かせて下さい。
  - ・ 疲れている場合は、使用しないで下さい。
16. 不意な始動は避けて下さい。
  - ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  - ・ プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめて下さい。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用して下さい。
  - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイアコード又はキャブタイアケーブルの延長コードを使用して下さい。( 8 ページ、3 項参照 )
18. 損傷した部品がないか点検して下さい。
  - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認して下さい。
  - ・ 可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取付状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認して下さい。
  - ・ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従って下さい。
  - ・ 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店で修理を行って下さい。
19. 指定の付属品やアタッチメントを使用して下さい。
  - ・ 取扱説明書及びカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外の物を使用すると、事故や怪我の原因となる恐れがありますので使用しないで下さい。
20. 電動工具の修理は、専門店で依頼して下さい。
  - ・ 修理は必ずお買い求めの販売店にお申し付け下さい。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や怪我の原因になります。

## 倣い面取盤使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、倣い面取盤として、さらに次に述べた注意事項を守って下さい。

### 警告

- 1. 必ず接地（アース）して下さい。**
  - ・故障や漏電のときに感電の恐れがあります。
  - ・接地は、プラグの横からでているアースクリップをアース線に接続して下さい。
  - ・アースクリップやアース線に異常がないか確認して下さい。
  - ・テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたらアースクリップと機械本体の金属部（外部）間の導通を確認して下さい。
  - ・アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店に相談して下さい。
  - ・接地と共に感電防止用漏電遮断器の設置された電源に接続されますことをおすすめします。  
労働安全衛生規則 第 333 条・第 334 条  
電気設備の技術基準 第 18 条・第 28 条・第 41 条
- 2. アース線をガス管に接続しないで下さい。**
  - ・爆発の恐れがあります。
- 3. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた 3 芯コードを使用して下さい。**
  - ・アース線のない 2 芯コードですと、感電の原因になります。
- 4. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用して下さい。**
  - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、怪我の原因になります。
- 5. 使用する場所は水平な所で、常に安定した状態に機械を置いて使用出来る場所を選んで下さい。**
  - ・機械が傾き、おもわぬ事故となる恐れがあります。
- 6. 使用するときは作業場周辺に人を近づけないで下さい。**
  - ・削り屑が飛び思わぬ事故になる恐れがあります。
- 7. 体調の悪いときや無理な姿勢での使用はしないで下さい。**
  - ・思わぬ怪我をする恐れがあります。

## 警告

8. 加工材の切削面上に、砂、釘などの異物がないか確認して下さい。
  - ・異物にカッターがあたり思わぬ事故になる恐れがあります。
9. 使用中はカッターや回転部に手や顔を近づけないで下さい。
  - ・怪我の原因になります。
10. 加工材が大きい場合、むやみに切削深さを深くしないで下さい。
  - ・反発力でカッターが手前（作業者）側に進み、思わぬ事故の恐れがあります。
11. スイッチを入れる前に、カッターが材料に当たっていないか、必ず確認して下さい。
  - ・思わぬ事故の恐れがあります。
12. 運転中のカッターなど回転している物には、手、衣類などを近づけないで下さい。
  - ・思わぬ怪我をする恐れがあります。
13. 削り屑が定盤上にたまったときは、スイッチを切り、プラグを電源より抜きカッターの回転が停止したのを確認し、掃除して下さい。
  - ・思わぬ怪我をする恐れがあります。
14. カッターや付属品は、取扱説明書に従って確実に取りつけて下さい。
  - ・確実にしないと、はずれたりし、怪我の原因となります。
15. カッターの取扱には、手袋、布などで手を保護し、十分注意して下さい。
  - ・不用意に扱うと、切り傷の原因になります。
16. 刃物類などの交換、整備で部品の脱着を行うときは、きれいな場所でホコリ、砂などが付かないよう心がけて下さい。
  - ・故障となる恐れがあります。
17. 電源プラグをコンセントに接続する前にスイッチが確実に切れるかどうか確認して下さい。
  - ・事故となる恐れがあります。
18. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼して下さい。
  - ・そのまま使用していると、思わぬ怪我、事故の原因になります。



## ご使用前の注意

### 1. 使用前の準備

木箱より製品を傷つけないように気をつけ、梱包を解いて下さい。

<b>！ 警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本機は重量が 75 k g あります。木箱からの取り出し、移動の際には必ず本体ベースの下面を持って行って下さい。落下事故や損傷の恐れがあります。</li><li>・本機を梱包している木箱の台座は取りはずさず取り付けのまま使用するか、しっかりとした作業台等にボルト等で取り付けるまでは、使用しないで下さい。本体のみで、作業台に固定していない場合はバランスを崩し、本体が傾き、落下事故や損傷の恐れがあります。</li></ul>
-------------	---

- ・製品の輸送中に各部のネジが緩んでいる可能性がありますので緩みや外れがないか確認して下さい。

### 2. 加工材へのクランプ取付方法

<b>！ 警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・材料にクランプを取りつける作業の際には必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。プラグを電源につないだまま行くと事故の恐れがあります。</li></ul>
-------------	---

- 2-1 加工したい製品と同寸法の型をコンパネ等（12 mm厚以上）で製作して下さい。コンパネ等で製作した型と加工したい材料を付属のクランプでしっかりと固定して下さい。

右図の様に、しっかりと固定して下さい。



## 2-2 安全カバーの取扱方法

<b>！ 警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・安全カバーを調整する時は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。プラグを電源につないだまま行くと事故の恐れがあります。</li></ul>
-------------	---

加工材の大きさに合わせて、安全カバーを取り付けている蝶ネジを緩め、材料に合わせ、安全カバーの高さを調節して下さい。

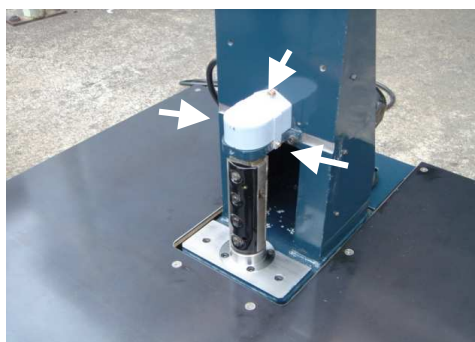


## 2-3 刃物の取扱方法

<b>！ 警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・刃物を取り扱う際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。プラグを電源につないだまま行くと事故の恐れがあります。</li><li>・刃物は指定された刃物以外は使用しないで下さい。指定された刃物以外を使用しますと、思わぬ事故の恐れがあります。</li><li>・カッター取付の際は、9 mmのボックスレンチで確実に行って下さい。確実に締め付けられていないと、ボルトが緩み刃物が外れ事故となる恐れがあります。</li></ul>
-------------	---

### カンナ刃の取り外し方

- ・安全カバー、ベルトカバーを取り外します。  
矢印の3本のネジを取ると  
ベルトカバーが外れます。



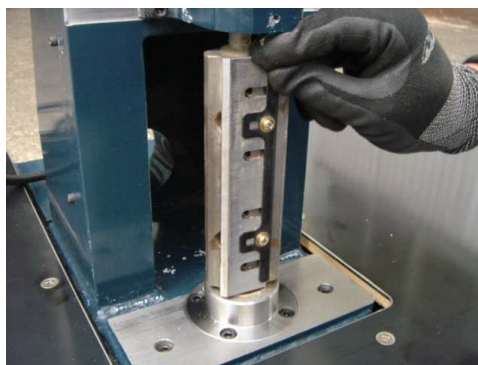
- ・カンナ胴の4本のカンナ刃締め付けボルトを付属のボックスレンチで取り外します。



**注意**

- ・カンナ刃を取り外す際には、カンナ刃の両端をつかむようにして下さい。思わぬ事故となる事があります。

- ・次にカンナ刃押さえ板と一緒にカンナ刃を取り出します。もう一組のカンナ刃も同じ要領で取り外して下さい。



- ・カンナ刃に取り付いているアジャストプレートをプラスドライバーで取り外します。



## カンナ刃の取り付け方

- ・カンナ刃を取り付ける場合は、カンナ胴及びカンナ刃の取付面に木屑等がついていないようにきれいに掃除して下さい。



### 注意

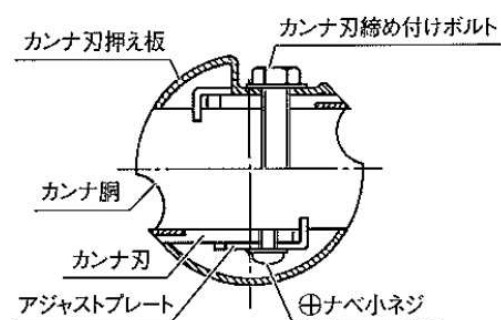
- ・カンナ刃締め付けボルトは付属のボックスレンチで十分締め付けて下さい。ボルトがゆるむと、思わぬ怪我の原因になります。

- ・カンナ刃のアジャストプレートの端をカンナ胴の溝にはめ込み、カンナ刃の上からカンナ刃押さえ板を置き取り外した時の逆の要領で4本の締め付けボルトでしっかり締め付けて下さい。



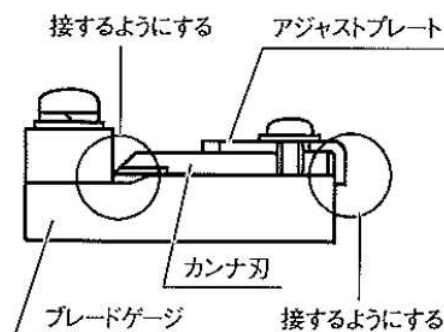
### 【注記】

- ・カンナ刃を取り付ける時は、必ず同一寸法、同一重量の刃を取り付けて下さい。同一のカンナ刃を使用されないと、カンナ胴の振動が大きくなり、きれいな仕上がり面が得られないばかりか故障の原因となりますので、御注意下さい。



## ブレードゲージ式刃高調整方法

- ・カンナ刃はカンナ胴に取り付ける前に  
付属のブレードゲージで刃高調整をします。

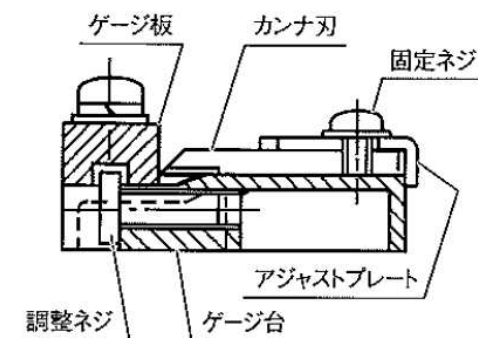


- ・アジャストプレートの端をゲージベースの  
端面にあて、カンナ刃の上から指で押さえながら  
固定ネジをしっかり締めて下さい。  
このとき、アジャストプレート  
をカンナ刃の先に向かって  
軽く押さえながら締め付けて下さい。



### 【注記】

- ・ブレードゲージは正確に寸法を  
出してありますから、  
調整の必要はありませんが、  
万一、刃先が出過ぎたり、  
引込んでいる場合は、  
ゲージプレートの締め付けネジを緩め、  
図の調整ネジを回して調整して下さい。  
擦り減った場合は、ゲージプレートの  
長期間使用してゲージプレートが  
締め付けネジを緩め、  
同じようにして調整してから  
締め付けネジで固定して下さい。





### 3. 加工方法

#### 3-1 電源の接続

！ 警告	<ul style="list-style-type: none"><li>・電源プラグをコンセントに差し込む前に必ずスイッチが切れていることを確認して下さい。 思わぬ事故となる事があります。</li><li>・濡れた手で電源プラグをさわらないで下さい。 感電事故となることがあります。</li></ul>
------	---

3-2 コードが切れていないか、プラグが曲がっていないかを確認して電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。

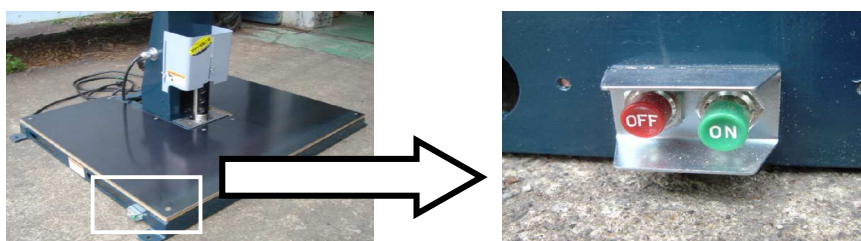
！ 警告	<ul style="list-style-type: none"><li>・一回に加工するカッターの切削の深さは、切削深さを 2 mm 程度にして下さい。それ以上の深さを加工するときは必ず二回に分けて加工して下さい。 2 mm 以上の加工をしますと切削抵抗が大きくなり、反発力で材料がけられることがあります、事故となる恐れがあります。</li></ul>
------	--

！ 警告	<ul style="list-style-type: none"><li>・材料を加工する時は、必ずクランプなどを使用して下さい。</li><li>・また、加工材を動かすときには絶対にカッターの周囲に手や指を近づけないで下さい。 事故となる恐れがあります。</li></ul>
------	---

#### 3-3 スイッチの操作

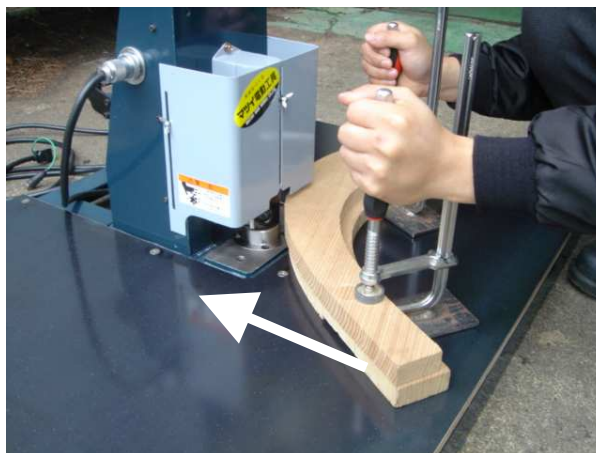
！ 警告	<ul style="list-style-type: none"><li>・スイッチをONにする際は、必ず加工材などに刃物が当たっていないか確認の上操作して下さい。 思わぬ事故となる事があります。</li></ul>
------	---

スイッチ、ONの記載されているボタンを押し込むと電源が入りモーターが回転し、OFFが記載されているボタンを押し込むと電源が切れてモーターは惰性の回転となります。(ブレーキは付いておりませんので回転停止まで注意して下さい。)



### 3-4 使用方法

加工したい型を 12 mm以上の厚みの板で製作して下さい。  
型から加工したい材料を最大 2 mm出してから、クランプで固定して下さい。  
スイッチを入れモーターの回転が完全に上がって安定してから、手前から  
ゆっくりと加工材料を刃物に当てて加工して下さい。



型をガイドに当てながら材料を移動して加工すると、型と同じ形状に加工  
したい材料が加工出来ます。

## 保守・点検について

! 警告	<ul style="list-style-type: none"><li>・点検・整備の際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。感電や事故の原因となります。</li><li>・修理は必ずお買い求めの販売店に依頼して下さい。修理の知識や技術のない方が修理しますと、故障の原因となり怪我の恐れがあります。</li><li>・メーカーの許可なき機械の改造は行わないで下さい。思わぬ事故となる恐れがあります。</li></ul>
------	---

### 1. カーボンブラシの点検・整備

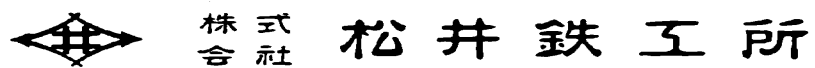
カーボンブラシの磨耗が大きくなりますと火花が多くなり、モーター故障の原因となりますのでカーボンブラシの長さが 10mm ぐらいになりましたら、左右同時に新品と交換して下さい。新品と交換する際は当社指定のカーボンブラシをご使用下さい。

カーボンブラシ：マキタ CB - 154

## 特別注意点

! 警告	<ul style="list-style-type: none"><li>・専用刃物をご使用下さい。重大な事故の恐れがあります。</li></ul>
------	---





MATSUI IRON WORKS CO., LTD .

本社・工場 〒516-0005 三重県伊勢市竹ヶ鼻町 70 番地

TEL : ( 0596 ) 36-3346

FAX : ( 0596 ) 36-2175

営業所 東京・広島・福岡

URL <http://www.matsui-j.co.jp>